


平成29年度 都立学校・学校経営シート

校章		都立白鷗高等学校・附属中学校 併設型		中学			高校			
		《世界へ羽ばたくリーダーたちの学び舎》 ～伝統からグローバルな未来へ～		募集人員	特別枠16人程度・特別枠を差引く(男女各80人)計160人			推薦:男子8人・女子8人、一般:男子32人・女子32人		
基本情報	所在地	〒111-0041(西校舎)・111-0041(東校舎) 台東区元浅草一丁目6番22号(西校舎)・元浅草三丁目12番12号(東校舎)		電話番号	03-3843-5678(西) 03-5830-1731(東)					
	アクセス	(1) 大江戸線・つくばエクスプレス 新御徒町駅下車徒歩5分 (2) 銀座線 稲荷町駅下車徒歩7分 (3) JR御徒町駅徒歩13分		入学選抜情報	27年度	28年度	29年度	27年度 28年度 29年度 推薦 一般 推薦 一般 推薦 一般		
本情	特色ある教育活動 (学校設定科目等)	① 日本の伝統と文化を知り、日本人としてのアイデンティティを確立する		生徒在籍数	476名(男子233名、女子243名)			695名(男子336名、女子359名)		
		② 国語、英語によるプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力の向上をはかる			主な学校行事	宿泊体験学習(1年)・農村勤労体験学習(2年)・海外短期留学			海外短期留学(4年)・海外修学旅行(5年)・勉強合宿(5年)、体育祭、白鷗祭、合唱コン	
報	教育活動	③ 国際理解教育の推進により異文化理解を促進する		主な部活動		和太鼓、長唄三味線、百人一首、吹奏楽、野球、バスケット			和太鼓、長唄三味線、百人一首、吹奏楽、野球、サッカー、陸上、バスケット、バレー、水泳	
		④ 個を尊重したきめ細かな教育の展開			校服	男子	制服		男子・詰襟(紺)	制服
		⑤ 地域の教育資源を活用したキャリア教育の推進		女子		女子・ブレザー(紺)		女子・ブレザー(紺)		
				自律経営推進予算 29年度(単位:万円)	2,134.8	その他	体育祭(5月)・文化祭(10月)・合唱祭(2月)を合同で実施			
				学校評価	生徒入学満足度84.6%、保護者同満足度94.7%、地域の肯定評価73.2%					
				ホームページ	高校 <a href="http://www.hakuo-h.metro.tokyo.jp/">http://www.hakuo-h.metro.tokyo.jp/</a> 附属中学 <a href="http://www.hakuo-fuzoku-c.metro.tokyo.jp/">http://www.hakuo-fuzoku-c.metro.tokyo.jp</a>					

目指す学校 (1)併設型中高一貫教育校として、都立白鷗高等学校の歴史と伝統を生かしつつ、附属中学校から6年間の系統的な教育により、生徒の個性・能力を伸ばし自己実現を図る学校。  
(2)創造性豊かで開拓精神に富んだ人格の涵養を目指し、未来社会のリーダーとなる人材を育成する学校。  
(3)ダイバーシティ(多様性)を尊重し、日本の伝統・文化や異文化への理解を深め、国際社会に貢献する有為な人材を育成する学校。  
(4)地域に根ざし、開かれた学校として、学校教育活動の公開、地域との連携、交流を積極的に行う学校。

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目標①	①中高一体化した組織的運営の活性化 ①学年中心主義を改め、情報の共有化による各分掌・学年の明確な目標、検証、改善体制の確立 ②募集・広報活動の全面的な改善(高等学校志願倍率の向上) ③「都立高校改革推進計画・新実施計画」に向けた検討と、新しい「白鷗」のブランドイメージの確立	○分掌・教科を中心とした組織的・系統的な指導体制や情報共有が進んだ。テレビ会議システムを活用した。また、分掌及び学年、教科で年度末の検証を一覧としてまとめた。 ○中学校訪問の実施や学校説明会の増加、HPの効果的な発信ができた。経営企画室とも連携できた。ホームページの更新141回。内容の充実を図った。 ○新しい「白鷗」のブランドイメージの確立を図り、ミッションを表現するキーワードとして、「アイデンティティの確立」「ダイバーシティの尊重」「競争と協働」を明確にした。	
目標②	②学習指導・進路指導・生活指導が一体となった学力向上 ①生活指導の組織的な充実による、より高い学習習慣の実現 ②6年間を通じた系統的な職業観、勤労観の育成 ③6年間を見据えた年間授業計画の充実 ④英語教育推進校として、生徒の英語力の一層の向上 ⑤生徒が主体的に学ぶ授業への改善	○あいさつの励行に、生徒部を中心に組織的に取り組んだ。改善が見られたが、一層の組織的指導が求められる。 ○中学校の学力推移調査及び高校の実力テスト・模試を計画的に実施できた。その結果と課題の共有として、職員会議での報告を定期的に行った。 ○勉強合宿を実施すると共に、3学期に0学期の意識喚起やチーム難関の発足を行い、進路意識を高めた。 ○「上野・浅草学」について「総合的な学習の時間」計画策定を行った。	
目標③	③国際理解教育の充実 ①日本文化概論・伝統文化理解のための授業や行事の充実 ②教科「人間と社会」における地域連携の継続 ③海外修学旅行の充実と学校交流の実施 ④海外短期研修における4校との交流の深化と留学生の受け入れ	○米国スタンフォード大の研修を中心に海外研修旅行を策定。東京体験スクールの最初の受入校となった。 ○次世代リーダー育成道場の合格6名合格。派遣生徒への事前指導内容を組織的に対応する必要がある。 ○①探求型学習の推進 ②日本の伝統・文化理解教育の充実 ③ダイバーシティ教育の重視 を3つの柱とし、「総合的な学習の時間」の6年間を通じた系統的な計画策定やランゲージルームの設置等を行うとともに、英語教育の充実等、先行実施の可能な内容は今年度も実践し、中学3年・2年の英検取得等に素晴らしい結果を残した。	

数値目標	今年度の数値目標の内容	26年度		27年度		28年度		今年度		30年度	31年度	32年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	難関国立大学合格者	10	4	10	7	10	5	8	14	12	12	15
目標②	国公立大学・私立難関校(早慶上理)への実質進学者数	80	58	80	82	100	128	140	168	100	100	100
目標③	年間の学年平均皆勤者数	50	64	50	59	60	59.3	60	52	60	70	70